

5月13日（月）全校朝の会「當麻寺の仁王さん」

学校長から、全校朝会で「當麻寺の仁王さん」の話がありました。

この5月末に、當麻寺に戻ってくるものがあります。わかる人はいますか？それは、當麻寺の仁王さんです。

仁王さんには、口をあけている阿形（あぎょう）像と、口を結んだ吽形（うんぎょう）像の2つがあります。実は、約20年前から口をあけている阿形像の口から日本ミツバチが入り、巣を作っていました。そのため、像が、ずいぶん痛んでいたもので、3年前に修理に出されました。奈良歴史芸術文化村というところで修理をしました。阿形像は、全部解体され綺麗になりました。

さて、新しく修理された阿形像は、前とどこがちがうでしょうか？

天衣です。欠けていた天衣も作られました。また、目も新しく作られ、蜂が入ってこないように、口も後ろから板を当てています。修理された阿形像は、5月の末に當麻寺に戻ってくる予定です。ぜひ、當麻寺に見に行きましょう。

まもなく、入れ替わりで吽形像も、修理に出されます。

このほかにも、地元には、素晴らしい文化財があります。ぜひ、大切にしていきましょう。（学校長の話一部抜粋）

2年生の子どもたちは、6月に新しくなった阿形像を、見学に行く予定になっています。當麻寺の仁王さんは、子どもたちにとっても大切なまちの誇りです。

